

かめやま教育通信

第18回



3歳～6歳児の子育てアドバイス

「ありがとう」は、自己肯定感を育てる最高のほめ言葉！

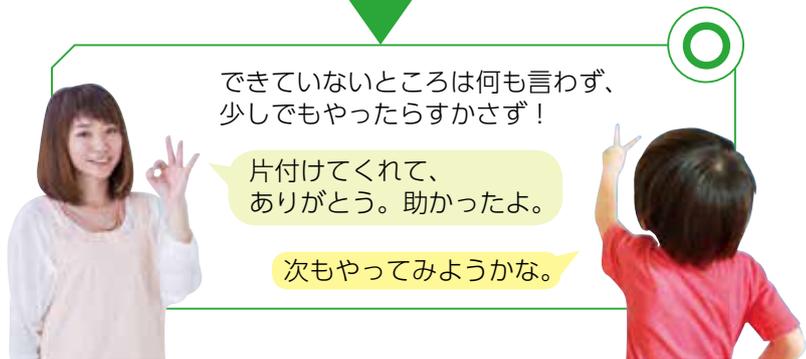
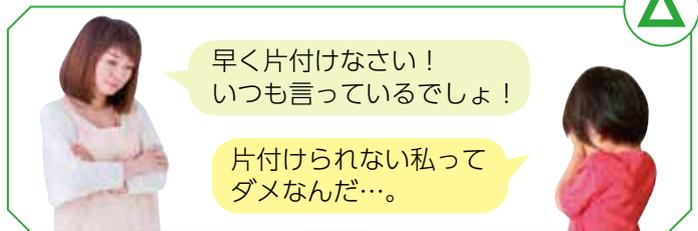
「ありがとう」と伝えてあげてください！

「使ったものを片付ける」「順番を守る」などの基本的ルールやしつけを、子どもが身に付けていくためにはどうすればよいのでしょうか？

叱ってばかりでは、子どもが「自分はダメな人間なんだ」と思うようになってしまい、心の土台である「自己肯定感(自分を大切に思う気持ち)」が育たなくなってしまいます。さらには、失敗を隠し、うそをつくようになってしまうことも…。

ポイントは、小さなことでもできた時に「ありがとう」と伝えてあげることです。「自分でも役立つことができるんだ」と自己肯定感が育まれ、良い習慣が身に付きやすくなります。

できていないところは何も言わず、少しでもやったらすかさずほめてあげてください。きっと次へのやる気につながります。



ほめることが大事だといっても、どうしても注意しなければならない時もあるのよね…。



子どもを注意するときに必要な6つのこと

- ① 叱るときは、子どもを止めて、目を見て、短い言葉で
- ② 人格ではなく行為を叱る「〇〇するのは、よくないよ」
- ③ いけない理由をちゃんと伝える
- ④ 「ダメ」と言うより、「してほしいこと」を伝える「〇〇しようね」
- ⑤ 「あなた」メッセージではなく、「わたし」メッセージで「私は、〇〇と思うよ」
- ⑥ 「気持ちはわかるよ」「たしかにそうだね」と一言を添える

出典：『3～6歳のこれで安心 子育てハッピーアドバイス』著者 明橋大二

お子さんのペースに合わせて少しずつ、そして、ときには周囲の力も借りて

子どもは、言っても言っても同じ失敗をしてしまいます。時にはカッとなってキレてしまうことも…。それでも、何度も丁寧に教え、何が正しいことなのかを伝えてあげれば、子どもはきっとできるようになります。

また、親だけでなくすべてを教えようと思わず、保育所・幼稚園等の先生、友達、祖父母、地域の人たちなどの力を借りて、多くの人の関わりの中で子育てしていくことも大切です。

問合せ先

教育委員会学校教育課教育支援グループ (☎84-5076)

教育委員会からのお知らせ

市内中学校の普通教室に空調機(エアコン)を設置

亀山中学校と中部中学校のすべての普通教室への空調機設置工事が完了し、学校の教育環境が一段と整いました。

※小学校は来年度に設置予定

